

科目名	保健・体育			担当教員	塩田政義・本田正・松本澄夫		
学年	1 年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	3
分野	一般	授業形式	実技・講義	科目番号	07G01_20120		
学習目標	様々なスポーツの運動理論を理解し，基礎技術を修得する。その種目のルールを把握し，それらのスポーツを実践できるようにする。また，スポーツテスト等で，個人の体力・運動能力を把握し，それらの維持と向上をはかる						
進め方	個人種目については，各種目の基本の理論を説明したうえで，基礎技術の実践を行い，修得できるようにする。団体種目については，個人の基礎技術を修得したうえで，各種目の運動理論を理解する。また，各種目のルール説明を行い，試合を行うことで，それらの種目の運営をできるようにする。						
履修要件							
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1，年間授業の概要説明（1） 2，集団行動（1） （スポーツテスト）3，記録測定（3） （バレーボール）4，パスの基礎技術（6） 5，パスゲーム（7）6，実技試験（1） （水泳） 7，各種目練習（6）8，記録測定（1） （ハードル）9，基礎技術の修得（9） 10，記録測定（1） （マット運動） 11，種目練習（9）12，実技試験（1） （サッカー） 13，基礎技術（パス・ドリブル）の修得（6） 14，ミニゲーム（7）15，実技試験（1）			年間計画を説明し，体育授業の目的・取り組む姿勢を理解する。整列隊形や隊形変更など集団での行動を身につける。自分自身の運動能力を把握し，運動能力の向上を目指す。個人種目では，各種目の基本の理論を理解し，反復練習を行うことでそれらの技術を修得できるようにする。団体種目では，基礎技術の修得を中心に行う。また，簡易ゲームを行い，それらの技術をゲームの中で実践的に使えるようにする。 F1:1-4,F2:1-4,F3:1,2			
	（剣道）1，年間授業の概要説明（1） 2，礼儀作法について（1） 3，心構えについて（1） 4，道具の使い方（1） 5，基本動作の修得（5） 6，対人的技能の修得（12） 7，試合（8）8，実技試験（1）			年間計画を説明し，剣道の授業の目的や取り組む姿勢を理解する。 礼儀作法や剣道における心構えを理解し，精神面をしっかりとした上で，基本動作や対人的技能を修得する。 F2:1-4,F3:1,2			
	（柔道）1，年間授業の概要説明（1） 2，歴史および礼儀作法について（1） 3，心構えについて（1） 4，受け身の修得（6） 5，立ち技の修得（8） 6，寝技の修得（4） 7，試合（8）8，実技試験（1）			年間計画を説明し，柔道の授業の目的や取り組む姿勢を理解する。 礼儀作法や柔道における心構えを理解し，精神面をしっかりとした上で，基本の受け身や技を修得する。 F2:1-4,F3:1,2			
	週2時間は体育の授業を行い，週1時間は格技として，剣道と柔道の選択授業を行う。						
評価方法	各種目の実技試験と平常点（出席率，授業態度）で総合評価を行う。						
関連科目	特になし						
教材	教科書「アクティブスポーツ」（総合版）大修館書店						
備考	特になし						